

# 平成 22 年度環境教育リーダー研修基礎講座

## 開催報告（概要）



**環境省北海道地方環境事務所**

(運営) NPO 法人当別エコロジカルコミュニティー

## 1. 平成22年度環境教育リーダー研修基礎講座について

### (1) 主催・実施主体・後援・協力

- ①主催：環境省、文部科学省
- ②実施主体：環境省北海道地方環境事務所
- ③後援：厚岸町教育委員会
- ④協力：北海道教育委員会、北海道

### (2) 開催月日・開催場所

- ①開催月日：平成22年8月9日（月）～11日（水）
- ②開催場所：ネイパル厚岸（北海道立厚岸少年自然の家）

### (3) 参加者数

- ①参加者数：33名
- ②男女別：男性21名、女性12名
- ③職業別：教員18名、学生5名、一般10名
- ④地域別：道内31名（札幌市7名、旭川市2名、函館市1名、苫小牧市1名、帯広市2名、釧路市5名、江別市1名、釧路町1名、厚岸町1名、標茶町5名、白糠町1名、清里町2名、別海町1名、利尻町1名）  
道外2名（東京都1名、富山県1名）
- ⑤年齢別：20代6名、30代16名、40代5名、50代3名、60代3名

## 2. 研修スケジュール

**1日目** 8月9日（月）

13:00 受付

13:30 開講式・オリエンテーション

開講挨拶：伊藤 孝男 統括環境保全企画官  
(要旨)

- ・この研修は、平成15年度から毎年1回、教員や地域で活動している方を対象に、全国7ブロックで開催しているものである
- ・この研修を機に、地元の素材やフィールドを基にプログラムを組み立て、実際の授業に生かせる人材になってもらいたい



開講挨拶

13:40 【講義】「コミュニケーションと体験型学習」

講師：山本 幹彦 氏  
(NPO 法人当別エコロジカルコミュニティ  
(以下、「TEC」) 理事長)

1. 体験型学習のポイント解説
2. 学びのスタイルの比較
3. デートゲーム (参加者同士が親しくなる)



デートゲーム

14:45 【基調講演】「霧多布湿原の環境教育とまちづくり」

講師：三膳 時子 氏  
(認定 NPO 法人霧多布湿原トラスト理事長)

1. 霧多布湿原ファンクラブから霧多布湿原トラストへ
2. 2000年から始まった霧多布湿原のナショナルトラスト
3. 霧多布子ども自然クラブの紹介



2000年から始まった霧多布湿原のナショナルトラスト

16 : 25 【講義】「標茶高等学校における環境教育の取組」

(実践事例発表)

講師：遠藤 友祐 氏

(北海道標茶高等学校教諭)

1. インタープリターズキャンプの紹介
2. 全国高校生自然環境サミットの紹介
3. 釧路湿原再生プロジェクトの紹介
4. まとめ



全国高校生自然環境サミットの紹介

17 : 30 夕食、自由時間

ネイパル厚岸の社会教育主幹、社会教育主事の協力の下、参加者はピザ作りなどを通じて親睦を深めた。



釜飯



ネイパル厚岸の服部社会教育主幹から夕食の説明



参加者同士でピザ作り

## 2日目 8月10日(火)

7:30 朝食

### 9:00 【講義】「環境教育体験講習」(分科会)

#### I 「水辺から見る環境教育」(カヌーで川下り)

講師:長岡 滋雄 氏

(霧多布湿原自然学校代表)

1. バス車内で解説
2. カヌー乗艇に当たっての注意事項説明
3. カヌー乗艇(別寒辺牛川上流~厚岸水鳥観察館 約9km)
4. 厚岸水鳥観察館にてふりかえりとまとめ



ネパール厚岸の服部社会教育主幹から注意事項の説明



参加者がペアになり、川下りスタート



昼食をとりながら、見たものや気付いたことなどのふりかえりと、長岡氏によるまとめ

#### II 「湿原と環境教育」(湿原の自然と環境教育)

講師:河原 淳 氏

(霧多布湿原センター館長)

1. 琵琶瀬展望台にて解説
2. 霧多布湿原トラスト事務所で解説と散策
3. 霧多布湿原センター周辺の散策とアクティビティ



霧多布湿原トラスト事務所に河原氏から解説



解説を聞きながら霧多布湿原センター  
一周辺を散策



昼食

14 : 10 【講義】「体験学習に基づいた環境教育のポイント」

講師：山本 幹彦 氏

(NPO 法人 TEC 理事長)

1. 各分科会で体験したことの発表
2. 体験学習法の整理



分科会 I で体験したことの発表



分科会 II で体験したことの発表



体験学習法の整理

15 : 15 **【実習】「環境教育・環境学習プログラム作成」**

講師：藤田 郁男 氏

(環境学習フォーラム北海道代表)

講師：山本 幹彦 氏

(NPO 法人 TEC 理事長)

1. プログラム作成に当たってのポイント  
解説
2. グループづくり
3. プログラム作成



藤田氏からプログラム作成に当たってのポイント解説



自己紹介と作成したいプログラムの  
テーマの発表



テーマの合いそうな参加者でグルー  
プづくり



テーマに基づいたプログラム作成

17 : 30 **夕食、自由時間**

19 : 30 **参加者の活動発表** ※自由参加

発表希望者がいなかったため、各グループで  
プログラム作成作業を引き続き行った。



### 3日目 8月11日(水)

7:30 朝食

#### 9:00 【実習】「環境教育・環境学習プログラム発表」

講師：藤田 郁男 氏

(環境学習フォーラム北海道代表)

講師：山本 幹彦 氏

(NPO 法人 TEC 理事長)

1. 作成したプログラムの発表
2. 良かった点、改善点、感想などのフィードバック
3. 2を踏まえ修正したプログラムの発表



グループ①の発表



グループ②の発表



グループ③の発表

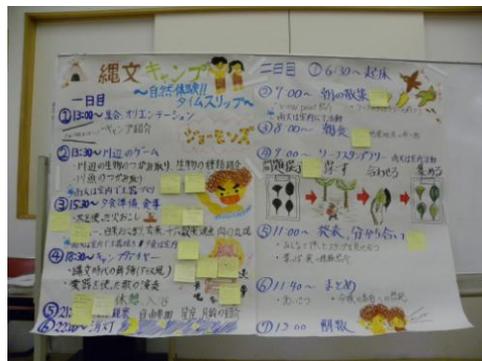


グループ④の発表



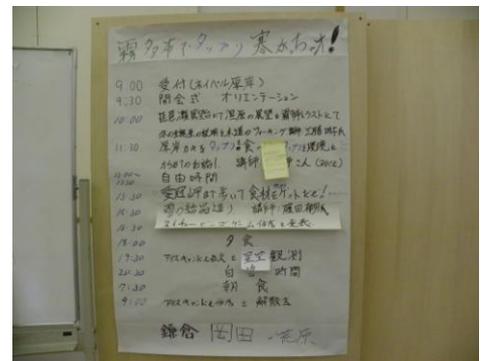
グループ⑤の発表

(作成したプログラム)



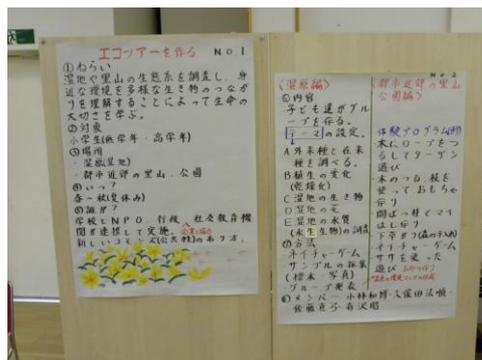
グループ①

「縄文キャンプ～自然体験！！  
タイムスリップ～」



グループ②

「霧多布でタツプリ寒がっちゃオ！」



グループ③

「エコツアーを作る」(湿原編)  
(都市近郊の里山公園編)



グループ④

「水プログラム」



グループ⑤

「中日青少年環境交流」

11:10 【講義】「3日間のふりかえりとまとめ」

講師：山本 幹彦 氏

(NPO 法人 TEC 理事長)

3日間をふりかえり、どのような「気付き」や「学び」があったのか、グループ内で発表した。



「気付き」や「学び」についてグループ内で発表

11:40 閉講式

修了証書授与

閉講挨拶：伊藤 孝男 統括環境保全企画官

(要旨)

- ・ この研修で学んだ知識や経験を大いに活かし、それぞれの地域で環境教育を実践してもらいたい



修了証書授与

11:50 解散